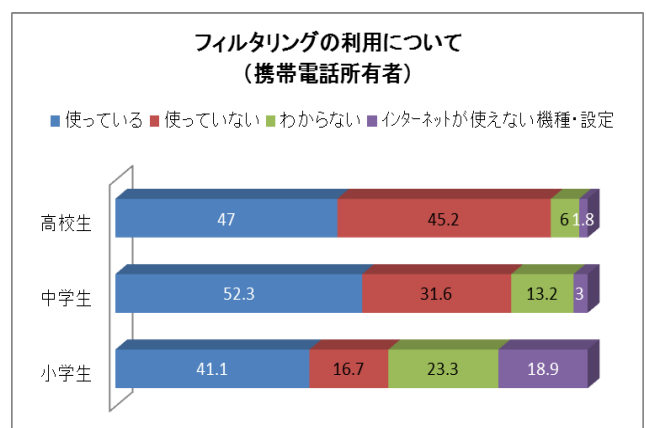
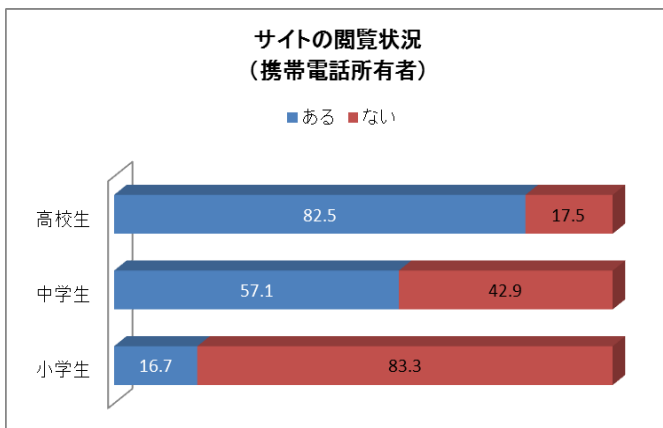


ケータイは小型インターネット機

内閣府が実施した「H22 青少年のインターネット利用環境実態調査」によると、携帯電話を持っている児童生徒のうち、携帯電話でサイトにアクセスして画面を「見ることがある」児童生徒は 64.2%、「見ることはない」児童生徒は 35.8%です。校種ごとにみても、学校種が上がるほど「見ることがある」が多くなっています。また、フィルタリングの利用状況を聞いたところ、小学生では 41.1%、中学生では 57.3%、高校生では 47.0%がフィルタリングを「使っている」と回答していますが、学校種が下がるほど「わからない」の割合が多くなっています。

携帯電話の所持率は、中学・高校入学とともに大きく増加します。「入学のプレゼントに」「学校生活では連絡に必要なから」という理由で、購入する家庭が多いようです。

リーフレットや DVD など、手軽に活用できる資料が作成されていますので、参観日後の懇談会や保護者説明会などの機会に啓発活動を行うことができます。



「情報モラル教育資料 (家庭版)」(県教委・県警)には、インターネット・ケータイのルールづくり、フィルタリングについて保護者向けに説明しています

「機会を捉えて「情報モラル」指導を！」

ケータイ利用を含めた「情報モラル」指導は、様々な場面を利用して指導することで効果が高まると言われています。総合教育センターでは、「情報教育」・「道徳」・「短学活」のそれぞれの場面で活用できる教材と指導展開案を公開しています。是非、活用してください。

● 1 「情報教育」で！

教材「情報サイト」により体験的な活動をとおして、情報安全を中心に「情報モラル」指導を行います。

[教材・指導展開案あり]

● 2 「道徳」で！

「道徳」の題材として、心の教育を行います。

[中学校用読み物教材・指導展開案あり]

● 3 「短学活」で！

短学活の時間を利用して、継続的な指導を行います。

[中学校用学習プリント・指導展開案あり]

<http://www1.iwate-ed.jp/tantou/joho/index.html>

(総合教育センター情報教育担当 研修指導主事 三田正巳)

不適応対策に係る情報を発信していきます。不適応対策指導の参考に活用していただければ幸いです。

岩手県教育委員会事務局学校教育室生徒指導担当 (019-629-6145)

<http://www.pref.iwate.jp/list.rbz?nd=1813&ik=3&pnp=86&pnp=1779&pnp=1813>